

# 社会、地理歴史、公民における「社会的な見方・考え方」のイメージ（案）

※「社会的な見方・考え方」は、小・中・高等学校の各「見方・考え方」を総称する呼称である。

- 社会的な見方・考え方は、深い学びを実現するための思考力や判断力の育成や獲得する知識の構造化に不可欠であること、主体的に学習に取り組む態度や学習を通して涵養される自覚や愛情などにも作用することなどを踏まえると、資質・能力全体の中核である。
- 社会的な見方・考え方は、課題解決的な学習において、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想したりする際の「視点や方法」であり、小、中、高等学校と校種が上がるにつれて視点の質やそれを生かした問いの質が高まることで成長するものである。

平成28年5月26日 教育課程部会  
社会・地理歴史・公民ワーキンググループ  
資料8

